

各教科等の指導や中学校への接続を関連付けて資質・能力を育む「ブナ里学習」

黒松内町立黒松内小学校 学級数 11 (校長 荒木 俊行)

実践の概要

黒松内町の「ひと・もの・こと」に触れる探究的な学習を通して、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えていく資質・能力を育成することを目指し、町内の小・中学校において総合的な学習の時間を「ブナ里学習」と名付け、実践している。

1 実践の目的

全ての児童は、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えていく資質・能力を身に付けることができるよう、国の天然記念物に指定されている黒松内町のブナをテーマに小学校4年間、中学校3年間の総合的な学習の時間において「ブナ里学習」を行う。(生活科でも一部実施)

2 実践内容

(1) 実施計画

児童が、総合的な学習の時間に身に付けたい資質・能力を育成できるよう各教科等の取組を踏まえ、「ブナ里学習」全体計画を作成するとともに、「『ブナ里学習』学習内容系統表」に各教科等との関連を記載し、小・中学校9年間のつながりと各教科等との関連を明確にする。

(2) 取組の具体

第3学年では、理科で学習する「植物の育ち方」、社会科で学習する「地域の地図づくり」、算数科で学習する「表と棒グラフ等」を生かして、地域の環境と生物の多様性、地域産業等と関連付け、「ブナ里学習」の単元名を「森の探検隊」として実施する。また、学年間・学校段階間の接続について小学校の生活科を含めて、小・中学校9年間で俯瞰した学習内容の系統表を作成する。

総合的な学習の時間の目標		
探究的な見方・考え方を働かせ、ひと・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、相手意識をもちながら目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。		
育てたい資質及び態度		
知識及び技能	中学年	高学年
	情報収集の仕方、集めた情報を比較・分類するなど、情報を活用する方法や手順を→知る。：第3学年／理解して用いる。：第4学年	情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた思考ツール等を選択して用いる。：第5学年／目的や効果に応じて用いる。：第6学年
	【一般化された概念的なものを学ぶ。＜多様性＞＜相互性＞＜有限性＞】	
課題の設定	生活や学習の中の疑問や関心から問題に気付いた時、課題を見つけている。：第3学年 生活や学習の中から得た情報から、自分たちの疑問の解決や新たな情報を得るための課題を設定している。：第4学年 課題に対する自分なりの考えや予想を立てている。：中学年共通	自分たちの地域社会等に目を向け、経験や既習事項と関連させて考えながら、一歩一歩新たな課題を設定している。：第5学年 新たな探求課題を設定し、学習計画を立てている。：第6学年 課題解決の見通しを持ちながら、課題解決の意欲を高める。：高学年共通
思考力・判断力・表現力	情報収集の手順を学び、必要な資料や情報を集めてい必要に応じて調べる方法を話し合い、情報を選択しながら収集している。：第4学年 比較・分類・関連付け等の思考方法により、情報をカードや表、グラフ等によりまとめている。：第3学年 比較・分類・関連付け等の視点を意識しながら情報を整理し、自分の考えを形作っている。：第4学年	目的に応じた情報を取捨選択する。メモや写真などを適切に記録する方法が分かっている。：第5学年 知り得た情報を基に、さらに自分の立てた仮説の根拠となる関連した情報を取捨選択し、情報を的確に蓄積している。：第6学年 ※視点～比較・分類・関連付け・整理等 視点を明確にしながら情報を整理し、既習事項や経験を踏まえながら、一面的に取り入れている。：第5学年／多面的な視点により改めて考えを形作っている。：第6学年
整理分析	【事実や経験、既習事項を踏まえて考えている。】 【中学年 高学年共通】	
まとめ・表現	自分の思いや考えをまとめる。：第3学年 探究の目的や伝えたい相手を意識しながら、自分の思いや考えをまとめる。：第4学年 図表等を使いながら、まとめた内容や伝えたいことを進んで相手に伝えている。：中学年共通	探究課題や情報の受け手を意識し、一分かりやすく整理・表現している。：第5学年／他教科で学んだ知識や技能を効果的に取り入れながら整理・表現している。：第6学年 一分かりやすく伝えようとする手段として、発表資料等の作成や使い方の意図を明確にしている。：高学年共通

【「ブナ里学習」全体計画】

学年	単元名	学習内容とおさえるべきポイント
3年	森の探検隊	『黒松内にはどんな自然があるの?』(自然)ブナ林、朱太川、黒松内岳町のシンボル『ブナ』ってどんな木?
	体験活動	・ブナの観察 ・森の樹木調べ、葉っぱ集め、樹木の分布調査)
	知ってよ!黒松内!	『なぜブナがシンボルなの?』(郷土)シンボルにしている理由などだから黒松内町は『ブナ』をシンボルとしているんだね!!守っていこう!!
	体験活動	・「北のヤシの木」鑑賞 ・ブナセンター展示施設を活用してブナの学習
	各教科等との関連	算数：表と棒グラフ 社会：地域の名称、建物の概要や歴史、地図作り 理科：生き物のすがた、植物の育ち方

【「ブナ里学習」学習内容系統表】

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

「ブナ里学習」と各教科等との関連を図った取組を継続したことにより、各学年の「ブナ里学習」において、各教科等と関連を図った実践がされてきたが、児童が各教科等で培った見方・考え方や「ブナ里学習」で身に付けた資質・能力が各教科等で発揮できるよう、一層、各教科等の内容と「ブナ里学習」の内容との関連を明確にし、資質・能力の育成に取り組む必要がある。

(4) 改善後の取組

第5学年社会科「国土の自然とともに生きる」単元で、児童が「ブナ里学習」で育んだ力を生かしながら授業に臨む姿が見られるなど、総合的な学習の時間の学びの成果が各教科等に生かされ、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えていく資質・能力の育成につながってきている。

3 実践のポイント

- ・「ブナ里学習」全体計画と「ブナ里学習」学習内容系統表を活用することによる、総合的な学習の時間を軸にした小中一貫した資質・能力の育成を図ること
- ・小・中学校合同の教育課程部会における各種計画の作成と実施による、小・中学校9年間の学びが繋がった学校間連携の充実を図ること